

Funehiki High School News

vol.196

春の遠足 (1学年)

5月24日(金)に、1学年で都路グリーンパークへ遠足に行きました。遠足では、都路の大自然に囲まれながらバーベキューを楽しんだり、フライングディスクやモルックなど普段できないようなスポーツを楽しんだりすることができました。高校生活最初の校外学習でしたが、生徒一人一人がバーベキューの準備や後片付けなどを率先して行う場面がみられ、1学年の親睦を深めるとともに、思いやりの気持ちや自主性を強く感じることができた1日となりました。



地域課題探究活動 (2学年)

5月31日(金)に田村市役所のご協力のもと、2回目の地域課題探究活動を行いました。5つの班のうち、「駅の魅力化・交通」の班は企画調整課職員と駅へ、「観光」の班は観光交流課および生涯学習課職員と田村市パークゴルフ場へフィールドワークに行きました。「防災」の班は、生活安全課職員と防災マップについて意見交換をしました。「イベント」の班は、企画調整課職員と若者向けのイベントについて考えました。「食」の班は、農林課職員と次回のフィールドワークに向けて話し合いました。

田村市役所職員の皆様のおかげで、実践的な活動ができています。



第1回避難訓練

6月12日(水)に、たむら支援学校高等部と合同で避難訓練を行いました。口元をハンカチで覆うなどをして、職員の誘導のもと速やかに避難を行い、田村消防署の職員の方からも「冷静で上手に出来ていた」と講評をいただきました。また、本校各学年代表1名ずつとたむら支援学校の代表1名の計4名による水消火器を使った消火訓練も行いました。近年頻繁に起こる自然災害に対しても、今日の訓練を通して学び感じたことを振り返り、今より高い防災意識を持つ機会になったのではないかと思います。



船引高等学校・小野高等学校統合校 校名案の募集について

令和8年4月、船引高等学校と小野高等学校が統合して、現在の船引高等学校敷地内を利用して、統合校が開校します。地域の皆様に愛される学校とするため、校名を募集しますので、皆様からのたくさんの応募をお待ちしております。

●応募方法 ①市役所、行政局に設置の応募用紙に必要事項を記入し、回収箱に提出する。②右記のQRコードにアクセスし、入力する。
※①か②のいずれかの方法で応募してください。応募の際は、「氏名」「所属」「校名案」「そ

の校名にした理由」を必ず記載してください。また応募は、一人一案とさせていただきます。

●募集締め切り 8月23日(金)
※注意事項 ・この募集は、校名の候補となる案を公募するものであり、応募数により校名を決定するものではありません。
・一人一案とさせていただきます。記名式の応募とします。ご提供いただく個人情報は、他の目的で使用しません。

こちらからアクセス



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記



皆さん、こんにちは。起業型地域おこし協力隊の宮之原尚子(みやのらの なおこ)です。家族で田村市に移住してから早いもので1年がたちました。
この一年間で、ニカラグア女子野球選手来日時の田村市誘致と都路小中学校での交流、料理やコーヒーと絡めた語学イベントやオンラインセミナーの企画運営、都路町のよりあい処華さんでニカラグアのコーヒーの提供など、多くの方に語学の楽しさやニカラグアのことを知っていただけました。

あなたに知ってほしいニカラグアのこと

また、県外の高校からの依頼でニカラグアの医療事情や経験を伝えるオンライン授業の機会をいただき、高校生が外国語や国際協力に興味をもってくれたこともとてもうれしかったです。
これからも、さまざまな切り口から、外国語に挑戦することや多様な文化や価値観と触れることで人生がもっと楽しく豊かになることを、多くの人に伝えていきたいです。応援よろしくお願います。



海を越えて 英語指導助手ペンリレー No. 133

田村市に感謝!



サラ・モルド
アメリカ合衆国・オハイオ州出身
(田村市に来て4年目)

来日してからの三年間で私の心に残ることは、田村市がどのようなにして私の故郷になり、田村市の人たちが私の家族になったかという過程です。私はアメリカの小さな町の出身で、同じ雰囲気を感じる田村市で過ごす時間を楽しんできました。日本を考えると、初めての人にも親切なことで、英語で「おじさん(uncle)」という単語を学んだ時の生徒のくすくす笑いを思い出します。
私は神様が祝福として与えてくださった絆に感謝します。田村市を故郷のように感じさせてくれた人々に「ありがとうございます」と伝えたいです。毎日、顔を合わせる素晴らしい同僚、中学校の英語の先生方、生徒たちのことを思い出します。船引中学校で過ごした時間は楽しかったですし、常葉中学校での時間も楽しんでいます。英語は簡単な言語ではありません。



で、生徒たちの粘り強さや英語を学ぼうと努力する姿勢は素晴らしいです。
市内のお店の優しいレジ係の人たちを思い出します。いつも辛抱強く助けてくれました。田村市観光交流課の言語交流プログラムと、それを通じて出会った友人たちを思い出します。あいまいな場所にいろいろな物を送るために、日本の郵便制度を説明してくれた郵便局の人たちを思い出します。皆さん、とても親切で分かりやすかったです。
最後に、田村市と若草学園とに感謝します。私は、二つの団体によって田村市で生徒たちに英語を教えることができ、日本の文化を学ぶことができました。市内の学校で教える機会をくださっただけでなく、アメリカ人英語教師に心も開いてくださった田村市に感謝します。田村市の支援と励ましがなければ、私たちは英語教師の仕事をするのができませんでした。田村市で過ごした時間と全ての素敵な思い出をいつまでも大切にしたいと思っています。